

令和7年度 結城南中学校区新設校に関する説明会報告書

1 説明会の実施概要

会場	実施日時	参加者数
絹川地区多目的集会施設	令和7年8月 9日(土) 10:00～11:00	49人
上山川就業改善センター	令和7年8月 9日(土) 14:00～15:00	43人
市立公民館	令和7年8月 9日(土) 17:00～18:15	32人
山川文化会館	令和7年8月10日(日) 10:00～11:00	42人
江川地区多目的集会施設	令和7年8月10日(日) 14:00～15:15	43人
合計(延べ人数)		209人

2 説明会における主な質疑応答のまとめ

質問・要望	回 答	在住地区
①令和3年度から現在までの放課後児童クラブの検討内容と今後の方向性を教えてほしい。	放課後児童クラブの担当部署である子ども福祉課と教育委員会及び結城南中学校とで協議を進めており、設置場所について結城南中学校の既存校舎を使用する方法を含め様々な方向性を検討している。 (学校教育課)	絹川地区
②スクールバスの停留所案である絹川小学校まで歩いていく児童のための安全確保はどのように考えているか。	スクールバスや徒歩の通学路については、結城南中学校区新設校推進委員会の下部組織である専門部会のうち地域連携部会のワーキングチームで検討している。令和10年度に実際に通うことになる児童について精査し、ワーキングチームの中で細かく検討していく。方針案として学区全体でバスを12台運行する予定である。共通のルールとして新設校から2km以内には停留所を設けないことを検討している。2km以内の児童は直接新設校へ歩いて登校するか最寄りの停留所まで行きスクールバスに乗るか選択できることとする。 (学校教育課)	絹川地区
③令和7年9月議会で開校できるか決まるということ、これから実際に通う児童はもちろん、地域住民、保育園、幼稚園、	子どもたちへの説明の機会を設ける必要性は十分認識している。各学校や保育園の保護者向けの説明会は今年度は実施できていないので、開催に向けて検討していき	絹川地区

小学校、中学校の保護者向けに説明した方が良いのでは。	い。 (学校教育課)	
④少子化については結城市全体の問題であり、南部地区だけの問題ではないと思う。城南小学校もクラス数が減っていて、北部地区の学校の統合の話も近い将来出てくると思う。市全体の少子化対策として捉えて、市全体で説明会の場を設けてほしいと思う。	結城市学校適正配置等検討委員会からの提言として、結城中学校区、結城東中学校区などの北部地区の学校について城西小学校を城南小学校に統合するという案や中学校区の学区再編という案もある。北部地区は児童生徒の減少が結城南中学校区ほど進んでいないため時間をかけて検討させていただきたい。さらに結城南中学校区の一部を「区域指定」という制度により一般の住宅が建てられる地区とすることで若い人達が住みやすい環境づくりを並行して進めたい。現在造成中の繁昌塚南地区の工業用地に進出予定の大手企業の職員の方たちなどにもこの地域に住んでいただきたいと考えている。 (市長)	絹川地区
⑤統合が決まったら新設小学校に通う子どもたちが交流できる機会（遠足や運動会）を設けてほしい。学校ごとに学んでいることも違うと思うので、事前に交流できる機会を子どもたちに与えてほしい。	10年前から小中連携協力会議を設置している。結城南中学校区では、小学生の交流として5校で宿泊学習を共同で実施している。今年の宿泊学習でのキャンプファイヤーでは、5校の代表児童がそれぞれの松明の火を持ち合わせ一つになるセレモニーを実施しており、みんなで協力して結城市を盛り上げようという意識が見られた。 (教育長)	絹川地区
⑥議事録については、こんな議題について、こんな提案があり、結論としてこうなったと全て公開していただきたい。	これまでの説明会と同様に、議事録を作成し結城市のホームページで公開する。 (学校教育課)	絹川地区
⑦建設費の予算をこんなに大きく削減してしまって良いのか。工事期間が2年だが、外構工事等も含めて、工事期間中の値上がり方を十分考慮する必要がある。	削減後の36億7,300万円という金額は、秋以降に発注する場合の物価上昇を反映した金額となっている。また外構工事については今のところ3期に分けて発注する予定であり、競争原理を働かせることで	絹川地区

と思う。	金額を抑えたいと考えている。内容についても過大にならないよう十分精査していきたい。 (学校教育課)	
⑧小学生と中学生が同じ体育館を共有することで、体力差や体格差による怪我などの対策は何かあるのか。授業を分けることができれば問題ないと思うが共有する場面はあると思う。校庭も同様なことが考えられるがどのように考えているのか。	結城南中学校の体育館は約2,000㎡あり市内の学校で一番大きな体育館である。体育館を使用する際のルールとして、ネットカーテンなどで小学生と中学生の活動エリアを分けることを想定している。県内の小中一貫校で大洗町立南小学校、南中学校が中学校の体育館を共有している事例があるため運用の仕方を参考にして、結城市でもルールを決めていきたいと考えている。グラウンドの使い方も同様で、中学生が部活動をしているときは小学生が入ってはいけないエリアなどを細かく決めていきたい。 (学校教育課)	絹川地区
⑨若い世代が結城市を離れないように、将来を見据えた投資として小学校建設を進めるべき。反対している議員には、建てるのが目的ではなく子どもたちを手厚くサポートする、将来を見据えた投資であることを、よく理解していただけるように説明が必要だと思う。	本市では、子育て世代に選ばれるまちを作るために返済不要型の奨学金制度、同窓会補助事業、小学1年生へのランドセル支給、1歳・3歳児の子育て世代すこやか祝金支給など色々な政策を打ち出している。全国的に問題となっている不登校やいじめなどへの対応を考えながら、あの学校で学ばせたい、学校から帰りたくないと思うぐらいの学校づくりに取り組んでいきたいと考えている。覚悟を決めて事業を進めているので、皆様のご理解をいただきたい。 (市長)	絹川地区
⑩絹川小学校の児童は結城東中学校に行くことが多いと聞いている。新設校ができた場合、結城南中学校に行くのか、あるいは結城東中学校に行くのか、実際に通うことになる方々の考えを聞けるような場所や地域の意見が取り入れられるよ	絹川地区のうち小森、久保田、宮崎、慶福の4つの地域は結城東中学校が指定校となっており、その他の地域は結城南中学校が指定校である。新設校では、小中一貫教育を推進するため、結城東中学校が指定校となっている児童に、ぜひ、結城南中学校に通っていただきたいと考えている。子どもたちの教育的なニーズや皆様からのご意	その他

うな機会をつくっていただきたい。 (市議)	見等を聞きながら学区再編を進めて行きたい。 (学校教育課)	
⑪設計の段階で小学生の意見は聞いたのか。工事が始まってからでも壁の色や柄を決めるなど意見を聞く場面はあると思う。子どもが小学校に通う時に「ここは先輩たちが決めたのだよ。」ということ言えるといい。そういうことをしていただけると、卒業生や新設校に通う期間が少ない子ども達への配慮になると思うのでお願いしたい。もし実現する場合は発信してほしい。	参考にさせていただき、今後進めていく。ほかにも例えば、児童が遊ぶ遊具について、児童の意見を丁寧に拾い上げていきたい。 (学校教育課)	不明